



議会だより



令和2年6月定例会

あらまし・議案審議	2
予算審査特別委員会・委員会提出議案	4
議員提出議案・請願・陳情	5
一般質問目次・臨時会	6
一般質問 7人が登壇	7
委員会レポート	14
わたしたちの町（猪苗代中学校）	16

夏越大祓・茅の輪神事
土津神社



議会だよりHP

マチイロのご利用は下の QR コードから



App Store



Google Play

福島県 耶麻郡 猪苗代町 字城南 100 番地
<https://www.town.inawashiro.fukushima.jp/>

あらまし

令和2年第4回6月定例会は、6月3日から6月12日まで開催されました。町長から提出された議案は、令和元年度繰越明許費に係る報告1件、出資法人等に係る経営状況報告6件、令和2年度補正予算4件、条例の一部改正2件、財産の取得1件、郡山市との連携中枢都市圏連携協約の一部変更1件、農業委員会委員の任命に係る同意12件であり、すべての議案について原案のとおり、全会一致で承認・可決・同意しました。また、委員会提出議案1件、議員提出議案1件が提出され、全会一致で可決しました。

一般質問は7人の議員が2日間にわたり行いました。

【審議した主な議案】

令和2年度猪苗代町一般会計補正予算(第3号)

新型コロナウイルス感染症拡大防止と感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し、地方創生を図るため9584万7千円を、また、子ども子育て支援と保育対策総合支援として295万円を計上。ほかに「GIGAスクール構想」に基づき、児童生徒利用の端末を配置するため2346万円など、歳入歳出それぞれ2億693万7千円を増額計上した。

町民の健康維持、感染拡大防止を図るため、全世帯配布用マスク(各世帯10枚)、全町民配布用マスク(布マスク一人2枚)、災害時避難所備蓄用マスク・消毒液などを購入する。また、老人福祉センター、放課後児童クラブ、児童館に次亜塩素酸空間除菌脱臭機を配置する予算を計上。町内畜産農家支援補助金、会津清酒乾杯キャンペーン事業補助金、猪苗代町事業継続支援金に係る交付金、町内・町外向けのプレミアム付き「猪苗代応援商品券」発行事業補助金、福島県緊急経済対策資

金融資産制度利子及び信用保証料補助金、猪苗代町中小企業経営長期安定資金融資制度並びに中小企業融資制度の利子補給拡充のため補助金などをそれぞれ計上、増額した。「GIGAスクール構想」に基づき、町内の小学5年生から中学3年までの全児童生徒に一人1台のタブレット端末514台と、モバイルルータ33台分の予算を計上した。

町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

新型コロナウイルス感染症による町内経済への影響を鑑み、令和2年7月分の給料について、町長は給料の月額20%、副町長及び教育長は給料月額の10%を減額し、感染症対策の財源とするもの。

【主な質疑】

令和2年度猪苗代町一般会計補正予算(第3号)

問 全町民配布の布マスク2枚の有効性は。答 すでに一世帯10枚の使い捨てマスクを配布したが、今度は布マスクを一人につき2枚ずつ配布する。使い捨てよりは効率的に使用できると考えている。配布時期は十分検討する。

問 次亜塩素酸空間除菌脱臭機の購入だが、新型コロナウイルスに効果はあるのか。

答 次亜塩素酸水について様々な報道がある。今後、効果が認められる機器の選定を慎重に検討する。

問 会津清酒乾杯キャンペーン事業とは。

答 会津若松酒造協同組合の12酒蔵の中に猪苗代の酒蔵が加盟している。会津清酒乾杯キャンペーン事業を行う実行委員会がその日本酒を購入し、会津若松市内の飲食店で乾杯酒として提供する。町の地酒PRも兼ね、日本酒400本を買い上げる補助金を計上した。

問 プレミアム付き猪苗代応援商品券1万4千セットの内訳と開始時期は。

答 第1弾が6月15日から9月30日、第2弾は11月1日から1月31日までで、各7千セットずつ販売する。

問 GIGAスクール構想に基づく児童生徒一人1台コンピュータ配置。小中学校全学年で行うことになっているが、小学1年生から4年生へは、いつまでに整備するのか。

答 令和5年度までに整備することになっている。計画は本年度立てていきたい。

「令和2年度猪苗代町一般会計予算(第3号)」

賛成討論！

【五十嵐ミエ子】この予算に地域経済や住民生活を支援する事業が予算化されているが、まだ足りないという思いもある。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で困窮している人たちに支援を行い、町民の暮らしを守り効果的なものになる予算なので賛成。

【参考】一人当たり国民健康保険税額の比較

			令和2年度	令和元年度	令和元年度と令和2年度との比較
医療保険分	応能割	所得割	33,932円	38,685円	△4,753円
		均等割	19,293円	21,597円	△2,304円
	応益割	平等割	7,749円	9,080円	△1,331円
後期高齢者支援均分	応能割	所得割	11,727円	12,822円	△1,095円
		均等割	6,263円	7,157円	△894円
	応益割	平等割	2,822円	2,992円	△170円
介護保険分	応能割	所得割	14,716円	14,606円	110円
		均等割	8,659円	8,500円	159円
	応益割	平等割	3,859円	3,548円	311円
合計	応能割	所得割	60,375円	66,113円	△5,738円
		均等割	34,215円	37,254円	△3,039円
	応益割	平等割	14,430円	15,620円	△1,190円
			109,020円	118,987円	△9,967円

※金額は、合計額から割り返した試算額になるので、応益割額は実際の金額とは合わない。

「猪苗代町国民健康保険税条例の一部を改正する条例」

国民健康保険制度の広域化に伴い、国民健康保険事業納付金を納入するため、必要な税率改正を行うもの。本年度の納付金決定通知に基づき、医療保険分と後期高齢者支援金分は引き下げ、介護保険分は引き上げとなった。

【主な質疑】

問 介護保険分が増額となった要因は。答 本年度から、県全体の介護保険分から町分を求める算定方法に変わったためである。

令和2年度の国民健康保険税率が決定

【参考】国民健康保険税率の比較

			令和2年度	令和元年度
医療保険分	応能割	所得割	7.18%	7.64%
		均等割	25,600円	27,200円
	応益割	平等割	19,000円	20,800円
後期高齢者支援分	応能割	所得割	2.45%	2.56%
		均等割	8,600円	9,000円
	応益割	平等割	6,400円	6,900円
介護保険分	応能割	所得割	2.63%	2.33%
		均等割	11,300円	10,300円
	応益割	平等割	5,800円	5,300円

新型コロナウイルス 対策に予算増額！！

議長を除く13人の委員で、令和2年度補正予算3件を審査した。

令和2年度
一般会計補正予算
(第2号)

【主な質疑】

一般会計

歳入

問 《国庫支出金》
社会保障・税番号制度
システム整備に係る補助
金の制度は。

答 戸籍法の一部を改正する法律に基づき、法務省へ戸籍副本データを再送信するための改修と、マイナンバー制度を利用して情報連携を行い、情報提供の個人識別符号を取得する改修である。運用は、令和5年度中を予定している。

問 《県支出金》
ビーチクリーナー更新
の予算が県補助金となる
理由は。

答 2市1町で構成する猪苗代湖環境保全推進連絡会で、経年劣化によるビーチクリーナー更新の財政支援要望を行った。県民共有の財産である猪苗代湖の環境を守る必要があることから、予算確保された。

問 《繰入金》
財政調整基金の残高は。

答 5億5492万7千円である。

歳出

問 《総務費》
コミュニティ助成事業
補助の防犯灯整備が対象
になる要件は。

答 助成金の下限が100万円、上限が250万円となっている。対象になる工種などもあるので、あらかじめ相談いただきたい。

問 区長、交通教育専門員、
保健協力員、町営住宅管
理人等の傷害保険加入見
直しとは。

答 会計年度任用職員制度の施行に伴い、特別職非常勤職員から私人、有償ボランティアに身分が変更となる。予定していた非常勤公務災害補償と同等の保険に加入した。

《衛生費》

問 ビーチクリーナーの使
用内容は。

答 1台のビーチクリーナーを2市1町で順番に使用し、猪苗代湖の砂浜を清掃していく。今年度は35回行う予定である。

《農林水産業費》

問 担い手づくり総合支援
事業の制限等は。

答 金額の上限が300万円、人農地プランを中心に行っている経営者が対象となる。

委員会提出議案

国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の
十分な就学支援を求める意見書

【提案理由】

東日本大震災によって経済的に困窮している家庭の子どもたちの就学・修学を保障するため、令和3年度においても全額国庫で支援する「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、十分な就学支援に必要な予算確保を行うこと。

【提出者】 文教厚生常任委員会

【提出先】 復興大臣、文部科学大臣、
総務大臣、財務大臣

賛成全員 可決



議員提出議案

議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例
の一部を改正する条例

【提案理由】

新型コロナウイルス感染症により、町民生活や町内経済への影響が深刻化する中、本町のさまざまな支援策などに要する財源として活用してもらうため、7月分の議員報酬月額の20%を減額する。

【提出者】 長澤 操

【賛成者】 渡部 一登、佐藤 悦夫

賛成全員 可決

	議員報酬月額	7月 減額率	一人当たりの 減額金額	対象 人数	減額金額合計
議長	313,000円	20%	62,600円	1人	62,600円
副議長	258,000円		51,600円	1人	51,600円
常任 委員長	246,000円		49,200円	3人	147,600円
議会運営 委員長	246,000円		49,200円	1人	49,200円
議員	235,000円		47,000円	9人	423,000円
計				15人	734,000円

あなたの声を審議しました

6月定例会で審議された「請願・陳情」の結果は次のとおりです。

区分	件 名	紹介議員氏名	付託 委員会	審議 結果
	請願者・陳情者の氏名			
請願 第1号	町道館ノ内線道路改良舗装に関する請願 下館区長 佐藤 昇	後藤 公男	経済 建設	採択
請願 第2号	「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書 福島県教職員組合 中央執行委員長 角田 政志 福島県教職員組合 北会支部 支部長 猪股 優子	鈴木 元	文教 厚生	採択
陳情 第1号	赤道と呼ばれる農道を町道に編入してほしい 上ノ上区長 石田 由美子 猪苗代町民生児童委員 遠藤 恒友		経済 建設	取り下げ



町道館ノ内線を調査

農業委員会の委員の任命につき 同意を求めることについて

令和2年7月19日をもって任期満了となることから、新たな農業委員会委員12人が同意されました。任期は令和2年7月20日から令和5年7月19日までの3年間です。

渡部 清人	氏（長坂）
佐賀 久人	氏（翁島駅前）
古川 悟	氏（相名目）
土屋 勇雄	氏（壺下）
渡部 大助	氏（幸野）
渡部 清美	氏（小水沢）
小林 勝明	氏（釜井）
鈴木 つや子	氏（西館）
神田 忍	氏（名古屋町）
渡部 義正	氏（西久保）
渡部 悦子	氏（白津）
別府 昭男	氏（下館）

臨時会（5月22日）

特別定額給付金予算が可決

あらまし
令和2年第3回臨時会が5月22日開催されました。町長から提出された議案は、専決処分の報告2件、専決処分の承認3件、令和2年度補正予算2件、条例の一部改正2件であり、すべての議案について原案のとおり、全会一致で承認・可決しました。

【主な審議内容】

- 令和2年度猪苗代町一般会計補正予算（第1号）
既定の歳入歳出の総額に、歳入歳出それぞれ14億1146万5千円を追加した。特別定額給付金事業は、給付額が1人10万円、対象者1万3829人で、13億8290万円の交付金と事務費等を計上。また、子育て世帯への臨時特別給付金では、子ども1人当たり1万円、対象者1585人で1585万円の交付金と事務費等を計上した。
- 猪苗代町国民健康保険条例の一部を改正する条例について
新型コロナウイルス感染症に感染、または発熱等の症状があり感染が疑われ、労務に服することができない被保険者に傷病手当金を支給する。
- 猪苗代町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について
新型コロナウイルス感染症に感染、または発熱等の症状があり感染が疑われ、労務に服することができない被保険者に傷病手当金を支給するため、福島県後期高齢者広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部が改正され、町が申請書の受付事務を行う。

一般質問 町政を問う

〇〇〇 主な質問事項 〇〇〇

佐瀬 真
新型コロナウイルス対策の町独自案

瀧田 勝昭
新型コロナウイルスの影響と課題

五十嵐 ミエ子
新型コロナウイルス感染対策

渡部 一登
猪苗代の今後の経済

星野 あけみ
「新しい生活様式」の定着

大高 佐代美
新型コロナウイルス感染者に対する差別意識撤廃のための取り組み

佐藤 悦夫
経済政策

一般質問とは？

議員が町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をただすこと。
本町の質問時間は、答弁を含め60分以内で1問1答方式である。

Q. 町の考える新しい生活様式とは A. 各団体との協議の中で設定していきたい



佐瀬 真

- 【質問】猪苗代医師団要望の発熱外来オンライン遠隔診療施設を設置する考えは。
- 【保健福祉課長】設置可能であれば、関係機関と協議の上進める。
- 【質問】次の冬までに、新型コロナウイルスとインフルエンザの区別がつかない患者を、診療所から離れた施設で分けることが必要となる。いつ頃までに設置の結論を出すのか。
- 【保健福祉課長】遠隔診療の設置検討も含め、協議・検討を行っていく。
- 【質問】町内で感染確認された場合の独自対策案は。
- 【保健福祉課長】会津保健所が中心となり対応する。事案によって対応が異なるので慎重に判断する。



人との接触を8割減らす10のポイント
～厚生労働省HPより～

【質問】町内には感染症専門者や会津若松医師会長が在任している。専門者を招いた対策会議は開いたか。

【保健福祉課長】会議は開催していない。感染症対策の専門的な知識が必要な場合には助言を頂きたい。

【質問】新型コロナウイルス関連の相談は、対策本部が窓口なのか。

【総務課長】相談窓口は保健福祉課に設置しているが、経済や学校、税務などは、各担当課で受け答える。

【質問】5月14日の議会全員協議会で町の新型コロナウイルス対策が示された。15日には多くの点で差がある独自案が町長より発表された。議会に説明出来る機会があったなか、なぜ説明がなかったのか。

【町長】この問題についてはいろいろと反省すべき点もあるが、一番先に考えるのは住民であり、住民の健康を守ることからこのような措置になった。

【質問】事業者などへ、大型で町独自の税の減免や徴収猶予が必要では。

【税務課長】相談があれば徴収猶予は可能である。また、固定資産税の減免は来年度で対応したい。

【質問】野口英世博士が生まれた町として、他に見られない感染症対策を打ち出すことが、住んで良かった町として人口減少の緩和にもつながるのでは。

【町長】子育て支援や当町にしかできない事業などを勘案し、住んでみたい、住んで良かったというまちづくりのため、議会と行政が一体となっていくことが理想だと考える。



瀧田 勝昭

Q. ICT (情報通信技術)の利活用は

A. まず学校教育から行いたい



役場窓口も感染防止対策が取られている

【質問】町民にとって役場の行政サービスは重要である。職員がコロナ感染した場合、行政サービスを継続させる対策は。

【総務課長】サービス低下や支障がない範囲で、各課の3分の1程度の職員に休暇を取得してもらう。また、会議室等を使用し、分散して業務を行うなど、仮に職員が感染しても、役場機能が停止しないよう体制づくりを検討していく。

【質問】ICTによる地域の活性化は、行政サービス、教育、医療部門での利活用などが必要であることが、このコロナウイルスによって改めて知らされたが、ICTの計画の現状は。

【企画財務課長】ICT利活用に特化した計画の策定あるいは、策定の検討は行っていないが、新型コロナウイルス感染症対策については、交付金を財源として種々検討を行っている。今後も、国の補正が予定される交付金を活用し、教育、農業、観光等の課題に取り組みでいきたい。

Q. 住民支援の財政運営は

A. 自主財源の投入も躊躇なく行っていく

【質問】緊急時の財政運営の考え方は、国の地方創生臨時交付金だけをコロナ対策の財源とするのではなく、8億円程度あると思われる財政調整基金から、町独自の支援をするための財源を生むべきでは。

【企画財務課長】緊急時の財政運営は、財政調整基金の活用を軸に予算編成を行うことになる。引き続き感染拡大の防止、経済対策、地方創生、そういったところに配分できるように引き続き取り組んでいきたい。

【質問】国と違って起債をして町のお金を増やすことはできない。財源不足を補うアイデアを集め、それを実現するための考え方は。

【企画財務課長】この感染症の影響が長期化すれば、税収や料金収入等にも影響が出ると予想される。税収減には減収補填債、また税の徴収猶予は猶予特例債の活用を考えている。アイデア支援策は、通常の予算の枠外からの資金調達を実施するさまざまな取り組みがあり、それらも参考に職員が一丸となって知恵を絞り、効率的、効果的な事業を実施したい。

【質問】新型コロナウイルスに対するこれまでの取り組みは。

【保健福祉課長】不要不急の外出等自粛を、チラシ配布や防災無線等を利用し周知した。転入者へも2週間の外出自粛と、体調管理を要請してきた。

感染防止対策は、塩素系殺菌剤による庁舎内の清拭や換気の徹底、飛沫感染防止用パネルの設置、全職員のマスク着用での接客対応、職員の体温測定などに取り組んでいる。

【質問】今後は。

【保健福祉課長】国・県の動向を注視し、町民の健康、生命の安全を確保するため、関係機関と連携を図り、引き続き感染拡大防止対策に努める。

【質問】町民の命と暮らしを守る制度の周知徹底を図るため、町に相談窓口を設ける考えは。

【総務課長】それぞれの担当部局で相談体制は整えている。

【質問】自営業者への支援制度周知を積極的に行うべきと考えるが。

【商工観光課長】※持続化給付金に関する詳細な手続き等は、町商工会並びに商工観光課ホームページで周知を行っている。

※持続化給付金とは？

新型コロナウイルス感染拡大により大きな影響を受ける事業者、事業継続を支えし、再起の糧とするため、前年同月比で50%以上売上が減少した中小企業や個人事業者等に対し、一定額の給付金を交付する制度。

Q. デマンドタクシー、今後の課題は

A. 運賃収入を見直す時期がくると考える

【質問】デマンドタクシーの運行状況は。

【企画財務課長】令和元年度の利用者は3411人、ここ3年間は横ばいで、女性の利用割合が84%となっている。運行経費総額は903万8千円で、運賃収入148万4千円を差し引いた755万4千円を運行委託料として町が支出し、負担率は84%となっている。

【質問】乗り継ぎヤード増設の考えは。

【企画財務課長】路線バス事業者の営業を圧迫しないよう、配慮しなければならぬ。また、タクシー運転手の不足や高齢化もあり、乗り継ぎヤードや運行本数の追加は難しい状況にある。

【質問】今後の方向性は。

【企画財務課長】高齢化が進み、運転免許返納が全国的に活発になるなど、路線バスやデマンド型乗合タクシーの果たす役割はますます重要になると予想される。安心して利用できるよう、先進事例なども調査し、交通事業者とも協議を重ね、よりよい運行方法を模索したい。



生活にかかせないデマンドタクシー



五十嵐 ミエ子

Q. 今後の新型コロナウイルス感染拡大防止策は

A. 第二波などに向け、万全の体制で臨んでいきたい



渡部 一登

Q. 町民向けプレミアム付き商品券の発行は
A. 第1弾を6月、第2弾を11月に考えている

【質問】町民向けプレミアム付き商品券総数1万4千セットの販売である。1世帯2セットでは数が不足すると思うが、追加発行などの考えは。【商工観光課長】これまでのプレミアム商品券の取り扱いを参考とした。今後の動向を見て調整していきたい。

【質問】今後の観光は、30分から1時間圏内の方や県内の方々に誘客するかがポイントである。福島県の人口は約180万人、昨年の観光入込数が178万人である。近くの方にリピーターとしてきてもらえる施策の検討は。【商工観光課長】町外の観光客向けとして、5千円の商品券を3千円で販売するプレミアム付き商品券の発行を予定している。

【質問】今後の教育旅行は近くの観光地へ来る可能性が高い。バスも新型コロナウイルスの影響で乗車可能人数が減り、台数が増える可能性がある。バス代補助金の拡大は可能か。【商工観光課長】新しい生活様式にならった行動に對しての支援や拡充ができないか検討していきたい。

Q. 福島県の子どもは肥満傾向にある。
学校給食の改善はできないか
A. 栄養バランスのとれた安全・安心な給食を提供する

【質問】子どもたちの健康のために、主食をすべてご飯にする給食を取り入れている学校が増えている。それを目当てに移住する方もいるが、町の考えは。【教育総務課長】必要以上にカロリーなどを摂取しないように計算している。パンや麺に比べるとご飯は若干高いが、パンや麺を楽しむにしている児童も多い。給食について有識者から直接アドバイスをもら



栄養バランスが考えられている給食

う機会が少ないので、今後講習会や検討会を通して、より良い給食が提供できるよう努めたい。

【質問】温暖化に對しての考えは。【町長】気象状況変動の問題は、農業と観光の町を掲げる本町にとって大変重要な課題である。近年の猛暑や昨年の台風19号、そして今年の暖冬少雪など、これまで経験したことのない異常気象が続き、町民の生命、財産を守る上でも新たな対策が求められている。温暖化対策をはじめとする環境問題に積極的に取り組む。

Q. 町の平均気温の推移は
A. 2019年は10・6度、39年間で2度上昇

Q. 「新しい生活様式」の周知は
A. チラシの全戸配布やホームページなどに掲載

【質問】感染予防と社会経済活動を両立するため「新しい生活様式」の定着が重要とされている。どのように周知徹底していくのか。【保健福祉課長】緊急事態宣言期間中のマスクの着用、こまめな手洗い、咳エチケットへの取り組みなど「新しい生活様式」を今後も引き続き実践してもらうため、機会あるごとに周知を行っていく。

【質問】「新しい生活様式」には、日常生活の中で大切なポイントが示されている。わかりやすいパンフレットの作成は。【保健福祉課長】絵文字などを強調するような形で、見やすくわかりやすいチラシ作成に努める。



「新しい生活様式」の分かりやすい周知を
～厚生労働省HPより～

【質問】町の防災メールでは、身の安全を守るための防災情報を配信している。「新しい生活様式」をメール配信する考えは。【総務課長】防災アプリでの周知も可能であり、対応したい。

Q. 自粛中の高齢者等見守り活動の現状は
A. 電話等で安否確認を実施している

【質問】認知症サポーターを含めた地域の見守り体制づくりの考えは。【保健福祉課長】昨年12月に認知症サポーターのつどいを開催し、地域での見守りや声かけ等につなげる活動を開始した。



町には450人の認知症サポーターがいる

Q. 避難所の感染対策は
A. 予防対策を行い、万全の体制をとる

【質問】3つの密を避けるための体制づくりはできているか。【総務課長】国の指針に基づき消毒・検温を行い、間隔を空けて受け入れる。

【質問】新たな避難所設置や増設の考えは。【総務課長】指定避難所以外に宿泊施設や親戚、友人宅を避難先にすることも可能である。災害の拡大によっては増設も検討する。



星野 あけみ



大高 佐代美

Q. 新型コロナウイルスの町内感染が確認された場合の対応は
A. 広報誌やホームページなどで周知する

【質問】町内で感染が確認された場合、偏見や差別を防止するための啓発活動はどのように進めるのか。

【総務課長】啓発は必要であり、できることから対応したい。周知方法は広報紙やホームページなどになると考える。

【質問】新型コロナウイルス感染症によるストレスなどの対処として、心の相談窓口を設ける予定はあるか。

【保健福祉課長】悩みの要因が多岐にわたると考えられるため、保健福祉課で相談を受け、必要に応じて上部機関が設置する相談窓口へつないでいく。

Q. 臨時休校に伴う不登校児童生徒の増加は
A. 報告はない

【質問】小中学校の不登校児童生徒の現況は。

【教育総務課長】3月末時点で、小学生6人、中学生7人である。

【質問】学校再開後の状況は。

【教育総務課長】小学生6人のうち2人は中学校へ進学し、4人のうち一部の児童は出席している。中学生7人のうち2人が卒業、残念ながら5人は不登校が続いている。

【質問】コロナ禍からの臨時休校に伴い、不登校の増加が懸念される。具体的な取り組みは。

【教育総務課長】担任や養護教諭を中心としたきめ細やかな観察を行い、状況を的確に把握し支援を行う。今後も小中学校へ指導徹底していく。



オンライン授業を開始した猪苗代中学校

Q. オンライン授業の実施は
A. 猪苗代中学校で実施している

【質問】不登校をめぐっては学校以外の場での学習等に支援を行う重要性を文部科学省も示している。オンラインを活用して不登校のケアに活かし、欠席扱いをなくすなど、具体策の考えは。

【企画財務課長】※オンライン授業の活用はできると考えるが、その成果評価をどのようにするか、今後検討しなくてはならない大きな問題である。

※オンラインとは？
スマートフォンやパソコンなどのコンピュータ機器が、インターネットやネットワークに接続して通信が行える状態のこと。

Q. ブランド化に力を入れる必要は
A. 農業者の所得向上を目標に取り組んでいる

【質問】いなわしろ天のつぶの作付けの推移と現況は。

【農林課長】平成24年産から作付面積30アールで始まった。令和元年産にはJA会津よつば猪苗代稲作部会会員26人で約50ヘクタールを作付け、令和2年産は24人で44ヘクタールの作付けが行われる見込みである。

【質問】生産者の減っているいなわしろ天のつぶ。里山のつぶの評判が良いが。

【農林課長】里山のつぶの作付面積が増えている。いなわしろ天のつぶブランド事業を進めながら、いなわしろ里山のつぶのブランド化も進めたい。

Q. 新型コロナウイルスによる経済の現況は
A. 長期停滞への不安を大きく感じている

【質問】台風と暖冬、新型コロナウイルスによる観光業への影響は。

【商工観光課長】観光客の入込数は、暖冬の影響から前年比で2月が26・7%、3月が46・2%それぞれ減少した。さらに台風19号による自粛ムードと、新型コロナウイルス感染拡大で、観光客が完全に途絶えてしまった状況である。

【質問】町独自の緊急経済対策等も発表された。もう少しボリュームを付けた対策の検討は。

【商工観光課長】地域の経済活性化につながる施策になるのであれば、関係団体との協議を含め、積極的に必要性を捉え検討していきたい。

Q. 災害時、避難所での密を避けるためスペースが必要
A. 避難所の増設も必要である

【質問】一次避難所となる各地区の集会所にテントを備える考えは。

【総務課長】各地区の集会所が避難所になる場合もあると思う。その避難所に装備する備品類を想定し、いざという時に使える数量を確保、配備を検討したい。

【質問】町のホームページで避難所情報が見られない。

【総務課長】ホームページの内容については、すぐに確認する。

【質問】車で避難所へ移動する際、密の状態になるが。

【総務課長】マスクなどを着用し、速やかに移動していただきたい。



実るほど頭を垂れる稲穂かな

委員会レポート

ふるさと納税

【概要】

ふるさと納税は、生まれ育ったふるさとや応援したい自治体を選び寄付することができる制度で、出身地や現住所などに関係なく、自由に寄付先を選択できる。また寄付を受けた自治体でも、それを財源として様々な活用ができる。

【意見】

返礼品の厳格化によって、ここ数年はふるさと納税の伸びが横ばいになっていることから、関係諸団体とのさらなる連携によって魅力ある地場産品の掘り起こしを進めるとともに、気軽に1万円程度から申し込みができるメニューなど寄付者の裾野を広げて頂きたい。

また、多くの方々に猪苗代町への興味を持ってもらえるよう、町のホームページなどでも積極的に募集し、寄付したくなるような町のPRや情報の提供を行うよう期待する。

総務常任委員会

全国的にも平成20年度の制度スタートから寄付額は年々右肩上がりに伸びたが、近年返礼品競争の過熱化が社会問題となり、総務省では制度の健全な発展を図るべく、返礼品を寄付額の3割以下とし、返礼品自体も地場産品とすることにした。

町では、ブランド米の「いなわしろ天のつぶ」をはじめ、牛肉や日本酒、キャットタワーなどのほか、ホテル宿泊券やスキー場のシーズン券などの返礼品を揃えて、ふるさと納税サイトや町ホームページで積極的に寄付を募り、ここ数年は1億円程度の寄付金を集めている。



魅力ある返礼品の検討が必要

町内の道路橋梁

【概要】

橋梁長寿命化修繕計画による橋梁に対して従来の対症療法的な維持管理を続けた場合、修繕や架け替えに要する費用が増大となることから、損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う予防保全型へ転換を図ることにより、橋梁の寿命を延ばすことが出来る。専門技術者による5年に1回の定期点検及び健全性の診断の実施や、必要に応じた詳細点検により各部材の劣化や損傷の程度を早期に把握ができ、町職員等による日常的な維持管理や軽微な補修等も実施している。

町道に係る152橋の50年間の予算シミュレーションを行うと年間予算制約額5千万円で、今後50年間の事業費を比較すると、従来の事後保全型が231億円に対し予防保全型では20億円となり、コスト削減効果として211億円の減が図られる計画である。また、計画的な修繕を実施することで、良好な健全度を維持することが可能となる。

【意見】

橋梁の諸元情報や重要度を考慮した管理区分を橋梁毎に設定したことや、優先順位を付け修繕及び掛替えに要するコストを削減することは町の限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくためには必要不可欠である。

しかし、災害等で橋が破損し孤立集落になりうる橋梁については、優先順位を上げる対策を講じる必要があると思われる。



道路橋梁の予防保全でコスト削減

文化財の保存状況と活用

【調査内容】

町には、国指定文化財が10件、県指定文化財が12件、町指定文化財が39件の61件が登録されている。さらに昨年3月29日に野口英世生家主屋が国の有形文化財に登録され、合計62件となった。文化財は図書歴史情報室で展示等のほか、ホームページや和みいな通信で周知活用を図っている。

仮称猪苗代町歴史民俗資料館整備推進事業の目的は、歴史遺産の保存や整備、活用を図ることで、歴史と文化を学び、未来の猪苗代町を作り上げる強い力と地域を愛する心を育むもので、教育や文化の向上と、文化資源としての活用に寄与することとしている。

そのため、令和4年4月1日開館を目途に、旧猪苗代保育所に歴史民俗資料館の設置を進めている。

猪苗代城跡附鶴峰城跡の帯郭法面石垣に孕み出しがあり、安全確保のため修復すべきと考えている。単費または県補助金では大きな財政負担となる。

【意見】

多数の歴史資料を保存、整備し活用を図ることで、教育や文化の向上に寄与することと思われる。令和4年を待たずに、出来る範囲での早期開館を望む。

猪苗代城跡附鶴峰城跡の帯郭法面石垣は、孕み出し箇所が崩れる可能性も予想される。危険度が増す前に、早急に国指定史跡を目指す必要がある。



早期の開館が待たれる資料館

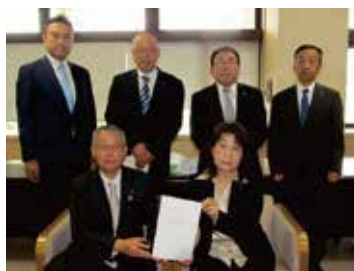
5月18日、新型コロナウイルス感染症に関する緊急要望書を町長へ提出

【町内経済対策】

1. 新型コロナウイルス対策のための支援金の確保
2. 緊急経済対策資金の融資金額の拡充と、期間延長と利子及び信用保証料の金額の補助
3. 事業所及び関連する雇用者に対する支援策
4. 観光・商業サービス業等影響を受けた事業者への固定資産税や水道料の減免措置

【町民への支援】

1. 町民に対する補助、助成
2. 各種支援金の分かりやすい申請方法の周知と協力、電子申請では支援窓口の充実
3. 町内小中学校のすべての児童生徒一人1台の端末整備とICTを活用した授業の早急な整備と学習支援
4. 猪苗代医師団と連携した発熱外来施設の整備



会津若松地方広域市町村圏整備組合

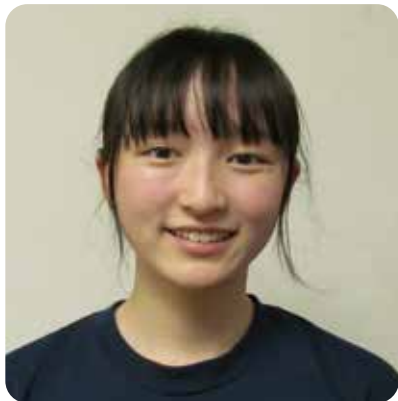
令和2年5月議会臨時会



猪苗代消防署に配備される

会津若松地方広域市町村圏整備組合議会臨時会が5月29日に行われ、管理者提出の財産の取得2件、議会提出の選任案件2件が提出され、すべて全会一致で可決された。

財産の取得2件のうち1件は、水槽付き消防ポンプ自動車の取得で、猪苗代消防署に配備される。金額は7018万円で、水槽には1500リットルの水を積載することができる。



みどりかわ

緑川ももかさん(猪苗代中学校)



わたしたちの町

～わたしの大切な場所～



猪苗代には、磐梯山や猪苗代湖などの豊かな自然がたくさんあります。夏には猪苗代湖で湖水浴、冬は真っ白な磐梯山でスキーを楽しむことができます。しかし、やはり私が思う猪苗代の良さは「人の温かさ」なのです。

また「今日は暑いねえ。」「今日から学校なの。頑張つてね。」など話しかけて下さる方もいます。そのとき私は心から「猪苗代っていい町だなあ。」と思います。

猪苗代は人口が約一万人の小さな町ですが、小さいからこそ「人々の繋がり」が強く、町全体が「温かい」のだと思います。

私たちは将来猪苗代を出て、就職や大学進学をすることになります。そのとき壁にぶつかったり、道に迷ったりすることが起こったら、私はきっと「猪苗代に帰りたい」と思う事でしょう。私にとって猪苗代は唯一無二の故郷であり、心が休まる家のようなとても大切な場所だからです。

傍聴においで下さい

**9月議会は
9月1日(火曜日)
開会予定です。**

【一般質問予定日：7日(月)・8日(火)】

※質問者・質問内容については8月31日以降に町のホームページ（議会事務局）に掲載します。また各公共施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

掲示施設名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・まちのえきまるしめ

～議会傍聴をされる方へのお願い～

傍聴の際は、下記についてご協力、ご留意いただきますようお願いいたします。

- 手洗い、咳エチケット、マスクの着用。
- アルコール消毒液での手指の消毒。
- 傍聴席では間隔をあけての着席。
- 体調がすぐれない方は傍聴をご遠慮願います。



皆様のご協力をお願いいたします。

～旭日単光章を受章～

6期24年の長きにわたり町議会議員を務め、1月に議員在職中に亡くなられた故佐藤光幸氏へ、旭日単光章が伝達されました。

今号の表紙

土津神社の夏越大祓・茅の輪神事。疫病予防、健康と幸福などが祈念されています。



編集後記

マスク着用で行われた6月議会には、22人の傍聴がありました。改選後、初の傍聴となり、新しい議会構成や新型コロナウイルス対策に関心が寄せられました。▼先の見えない感染症との共生ですが、日ごろからの健康管理と、マスクの着用・手洗いの励行で感染症から自身を守りましょう。

星野 あけみ

議会広報編集特別委員会

委員長 金本久美子
副委員長 星野あけみ
委員 鈴木元
委員 大高佐代美
委員 二瓶隆雄
委員 佐藤悦夫
委員 五十嵐ミエ子
議長 渡辺真一郎